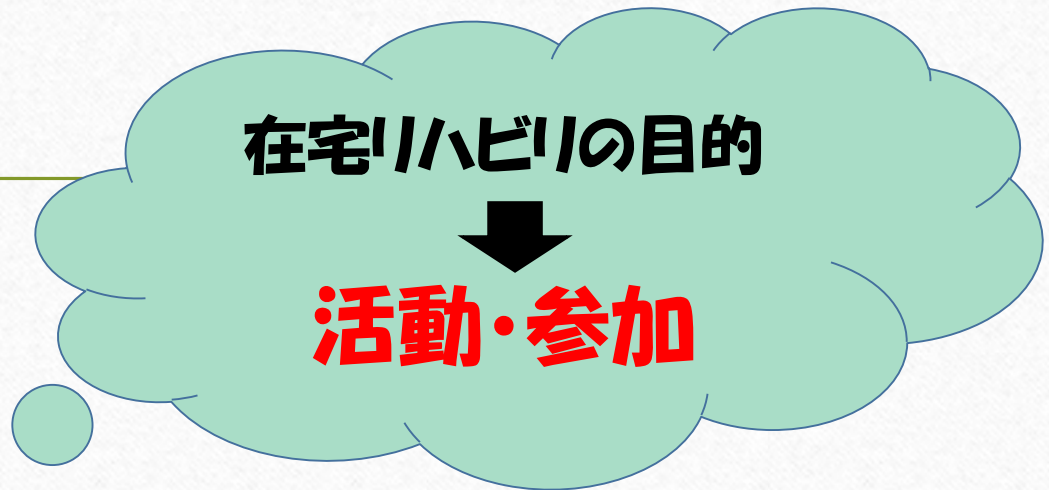


# 社会参加支援に向けて ～生活空間の広がりに着目～

---

嶋田病院 訪問リハビリ

# はじめに



社会参加に向け、  
活動範囲の拡大が必要！！

そこで・・・

☆ 当事業所として、活動範囲の拡大は出来ているのか？

☆ 活動量を評価するには・・・？



「**生活のひろがり**」に視点を置いた評価を活用！！

= Life-Space Assessment (LSA)

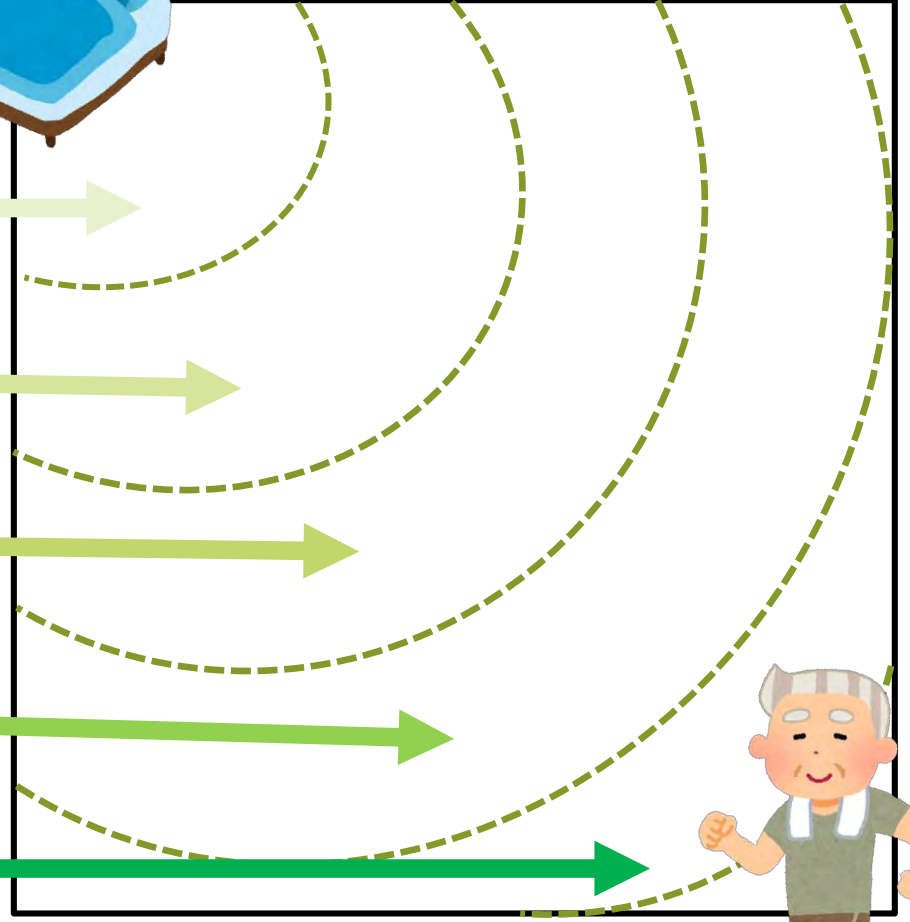
# Life-Space Assessment (LSA) とは

---

- 個人の 生活の空間的な広がり を評価する指標
- 評価実施前の1ヶ月間の移動パターン
- 寝室から出かけた範囲・頻度・自立度の程度
- 要支援者 : LSA
- 要介護者 : Home-based LSA(Hb-LSA) … 主に屋内空間

# 生活空間の範囲

レベル	LSA	Hb-LSA
①	自宅内	ベッド上
②	庭など敷地内	寝室内
③	自宅近隣	寝室以外の部屋
④	町内	自宅の敷地内
⑤	町外	敷地以外



# 方法

---

- 訪問リハビリ新規利用者（平成28年5月～）22名
- 開始時と終了時のLSA（Hb-LSA）を評価
- 各生活範囲での合計点を算出、利用前後の推移を検証する

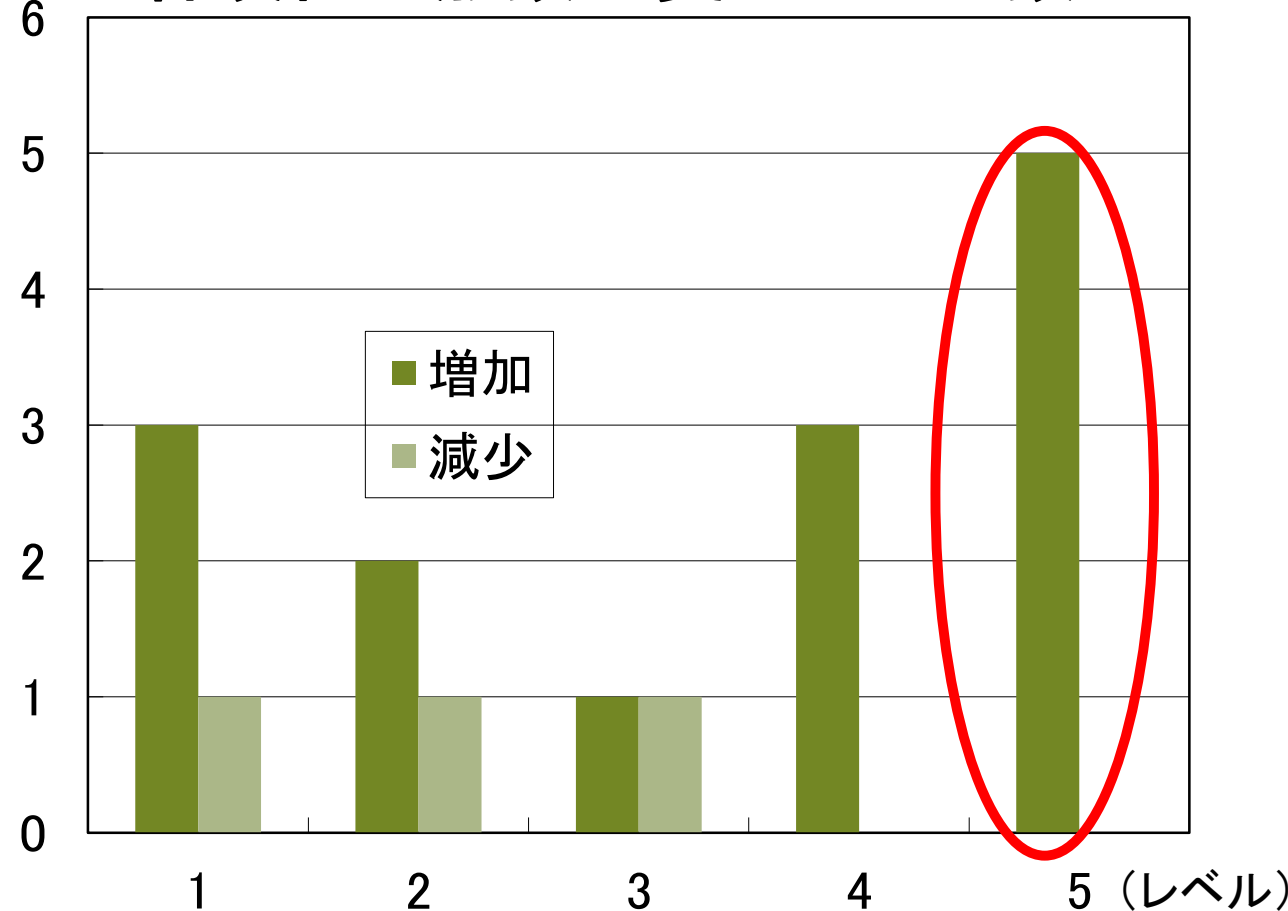
# 結果

☆対象者：22名（要支援4名、要介護18名）

◎合計平均点（120点満点）  
開始時：32点→終了時：41点

◎合計点が変わった人数  
増加：10名  
変化なし：11名  
減少：1名

(人) <各項目で点数が変化した人数>



# 考察①

合計平均点の増加



## 生活空間の拡大

身体機能・  
ADL改善  
環境調整

介助量軽減  
離床時間増加

生活の安定  
自宅内の活動量UP

活動意欲向上



## 考察②

レベル5(町外・敷地外)の範囲で増加が多い

＜訪問リハ⇒通所サービスへつなげる役割＞

- ★生活状況の把握や本人・家族とのコミュニケーション
- ★CM等、地域のサービスと連携をとりやすい

＜屋外活動の支援＞

- ★外へ出る機会
- ★家族への指導



自宅の外へ  
生活空間の拡大に  
つながった



おわりに



- 
- 「生活のひろがり」を評価し、訪問リハビリ介入にあたり、生活空間の拡大が認められた。
  - 訪問リハビリは、外出や通所への移行など屋外生活範囲の拡大支援に有効と考える。